

令和6年2月29日

保護者様

桑折町立醸芳小学校長 遠藤 和宏

令和5年度 学校評価アンケート結果と今後の方針について

保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育へのご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年末のご多用の中、お答えいただいた学校評価アンケートの結果と今後の方針がまとまりましたのでお知らせいたします。貴重なご意見等ありがとうございました。

本校がなお一層充実した教育活動が展開できるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。

回答数	◇1・2年児童74	◇3～6年児童195	◇保護者226	◇教職員19
-----	-----------	------------	---------	--------

1 教育目標について（児童・保護者・教職員アンケートの比較から）

(1) 知「よく考えて学ぶ子ども」の育成について

- 「学習への取組」や「基礎基本の定着」については、児童・保護者・教職員ともに、約80%が肯定的な評価をしていました。
- 「学習の進め方」や「家庭学習の習慣形成」「思考力・判断力・表現力の育成」については、保護者の肯定的な評価が約60～70%にとどまっていた。また、「読書習慣の形成」に関しては、児童・保護者・教職員の肯定的な評価が約40%にとどまっていた。

(2) 徳「思いやりのある子ども」の育成

- 「思いやり」や「自分の役割の自覚」、「所属感・自己効力感」については、児童・保護者・教職員ともに、約80%が肯定的な評価をしていました。
- 「規律の遵守」や「気持ちのよいあいさつ」については、児童の評価と比較すると、教職員の肯定的な評価が低かったです。

(3) 体「健康で明るい子ども」の育成

- 児童・保護者・教職員の肯定的な評価がともに、80%を超えたのは、「安全に対する意識等」でした。また、「運動や体力作りへの取組」では、児童・保護者70%以上、教職員約90%が、肯定的な評価をしていました。
- 「望ましい生活習慣」「粘り強さ」については、児童・保護者が約70%～80%が肯定的に捉えているのに対し、教職員は約50%～70%とやや低い評価でした。

2 学校運営について

- 「情報発信」「丁寧な対応」「多様な一人一人の児童理解」「協力関係の構築」「安全確保」すべての項目で、保護者の方々から肯定的な評価（約85%以上）を得ることができました。

3 家庭教育について

- 「子どもとの時間（会話や遊び等）」「称賛や励まし等の働きかけ」の項目で、90%以上保護者の方々が、肯定的な評価をしていました。
- 80%以上の家庭が、PC・タブレット・スマートフォン・携帯ゲームを使用していますが、まだ、3～6年のお子様がいるご家庭で、約30%近くが、ルール（時間や場所）を決めずに自由にさせたり、平日に2時間以上利用させたりしている家庭がありました。

4 個別懇談等での要望・相談等について

- 友達同士でお金の貸し借り（おごり、おごられ）がある。または、お金を持って遊びに来て、店で買う子がいる。自分の子には、もたせていないのでどうしたらよいか。
- 放課後、帰宅時間が過ぎても自転車で町内を走っている児童がおり、危険な運転をしている。
- 服装や頭髪など、生活に関するきまりについて見直しが必要ではないか。
- 特定の児童に嫌なことをされたり、言われたりする。
- 持久走記録会のやり方が昨年より時間内にどれだけ走れるかの記録会となったのはなぜか。タイムで競った方が順位もわかり、子どものやる気を引き出せるのではないか。

以上のことを踏まえ、今後の学校の方針について以下のように尽力していきたいと考えています。

◇自律した学習者を育てる◇

児童が、自ら課題を見付け、自分で考えて、自分で決めて行動し、多様な人との関わりを通して、よりよい学校（社会）を創る人になるよう、自己選択や自己決定、自己調整や振り返りを大切にしながら、粘り強く取り組み、責任ある行動をとる経験等を教育活動の中に染み渡らせていきたいと考えています。

その一つとして、生活のきまりについて見直しを図るとともに、今後児童の声を聴きながら意見を反映させていきたいです。しかし、取り返しのつかない失敗（命にかかわることや生活習慣の乱れ、犯罪等法律に触れること）には、セーフティーネットを張って児童を守っていくことが必要であると考えています。

◇よりよい学校や社会を創る◇

自律した学習者を育成する上で、大切なことは、心理的安全性を醸成することです。自分に対する肯定的な態度を養うとともに、自他の違いを認め、多様性に対する肯定的な態度を養うことで、心理的安全性を醸成してしていきたいと考えます。思い通りにしようと攻撃したり、排除したりしないよう、対話を重視して、自他の違いを受容する寛容性と包括性を高めていきたいと思っています。

◇質の高い教育活動のために◇

全ての多様な一人一人が、自分や多様性に対して肯定的に受け止めながら、自律した学習者となって、自分のよさや可能性を伸ばしていけるようにするには、教職員が心のゆとりをもって、全ての多様な一人一人を見取り、向き合うことが最重要となってきます。児童に寄り添い、対話を重ねながら、柔軟に児童の成長やチャレンジを支える質の高い教育活動の展開することに注力したいと思います。そのために、思い切ったスクラップ・アンド・ビルドに取り組んでいきたいと考えています。

◇持久走記録会について◇

運動が得意な児童も、苦手な児童も、より自分の目標にチャレンジしようとする児童をもっと増やすために、時間内にどれだけ走れるかに変更しました。自分の走る距離が、少しずつ伸びていることを自分の目ですぐに確かめることができるので、タイムで競うよりもむしろやる気を引き出せている様子が見られます。来年度も、時間内にどれだけ走れるか記録会は続けていきたいと思っています。しかし、練習等を工夫して、順位やタイムで友達と競い合う楽しさも味わう機会がもてればよいと思います。

【家庭へのお願い】

◇家庭教育の充実について◇

放課後や休日の過ごし方、メディア利用、金銭教育等、家庭教育が大きな割合を占めるところに関しては、本人の意思を尊重しつつ、子どもは、物事の全体が見えているわけではないので、取り返しのつかない失敗（命にかかわることや生活習慣の乱れ、犯罪等法律に触れること）を未然に防ぐために、大人がセーフティーネットを張りながら、家庭内でよく話し合っただけルール作りを行ってほしいと思います。自律の基礎を培っていきましょう。

※例えば、メディア使用のルールづくりについて別紙資料をご参照ください。

◇よりよい社会を創る◇

よりよい社会を創るのは、子どもだけでなく、今まさに社会を創っている私たち大人もそうです。子ども達が生きる10年後、20年後の地域・社会が生きやすい地域・社会となるようつなげていきましょう。特に、多様性は社会の伸びしろとして受容し、攻撃したり、排除したり、誹謗・中傷、差別・偏見をしたりすることを少なくしたいものです。まずは私たち大人が、醸芳小の全ての子ども達一人一人の成長を支える大人となって、多様な一人一人が、気持ちよく生活できるよりよい地域・社会を創っていきましょう。

ケータイ・スマートフォン等を使うための「18の約束」

2012年のクリスマス。アメリカで、母親が13歳の息子にスマホを与えるときに交わした「18の約束」が話題になりました。この「18の約束」には親子でスマホと上手に付き合うヒントが詰まっています。参考にしてください。

これはママからのスマホの契約書です。

13歳の息子へ、愛を込めて。

親愛なるグレゴリーへ。

メリークリスマス！ついにあなたは誇り高きiPhoneのオーナーです。

やったね！あなたは良い子で、責任感ある13歳の男の子だからこの贈り物にふさわしい。でも、このプレゼントにはルールと規則があります。下に続く契約書を読んでくださいね。テクノロジーに支配されることなく共存できるような、健康で、バランスの取れた若者に、あなたを成長させることが私の仕事だと理解して欲しい。

契約書のリストに従わない場合、iPhoneの所有権を停止します。

私はあなたを心から愛しています。これから先、あなたと何百万通ものメッセージをやり取りするのを楽しみにしています。

「スマホ18の約束」

- 1 これは私のスマホです。私が買いました。あなたの毎月の通話料も私が支払います。私ってエラくない？
- 2 パスワードは常に私に知らせること。
- 3 スマホが鳴ったら出なさい。それは電話です。挨拶をして、礼儀正しく。画面に“ママ” “パパ” の文字が見えたら、絶対に無視しないこと。絶対に！
- 4 学校がある日は夜7時30分、週末は夜9時になったら、速やかに両親のどちらかにスマホを手渡すこと。夜間は電源を切って、朝7時30分に再び電源を入れます。先方の親が最初に出るかもしれない固定電話にかけられないと思う時間には、スマホでもメールも電話もしないこと。本能に耳を傾けて、私たちが尊重されたいと思うように、他の家族も尊重すること。
- 5 携帯電話を学校に持っていかないこと。メールを交わしている相手と実際に会話をしなさい。それが「ライフスキル」生きていくための大事なことです。
* 課外学習や遠足、放課後遊びなどは特別に考慮します。
- 6 トイレに落としたり、地面に叩きつけたり、失くしてしまったりした場合は、あなたに責任を持って交換費用や修理代を支払ってもらいます。芝刈りしたり、子守りしたり、誕生日のお金を貯めるなどしてね。必ず起こることだから、しっかり準備しておくように。
- 7 この機能を使って、人に嘘をついたり、馬鹿にしたり、欺いたりしてはいけません。誰かを傷つけるような会話には参加しないで。まずはいい友達になること。厄介なことに巻き込まれないように。
- 8 直接相手に言えないことは、スマホでも言わない、メールにも書かないこと。
- 9 友達の親がいる前で言えないことは、スマホのメッセージでもメールでも書かないこと。書く前に自分でしっかり確認しなさい。

- 10 アダルトサイトは禁止。ネットでは私と共有できる情報を調べなさい。もし何か疑問がある場合は、誰かに、できれば私かパパに聞くように。
- 11 公共の場では電源を切り、音をさせないようにしておくこと。とくにレストラン、映画館、または誰かが話している間は。あなたは礼儀正しい子です。スマホにその場を変えさせてはいけません。
- 12 あなたや誰かのプライベートな部分の写真を、送ったり受け取ったりしてはいけません。笑わないでね。どんなにあなたが賢くても、いつか誘惑にかられる時があるでしょう。それはとても危険なことで、あなたの10代~大学生~大人と、すべての人生を台無しにしかねません。それはいつだって最悪なこと。インターネットの世界は広大で、強力です。広まった悪い評判を消すことはとてつもなく難しいのです。
- 13 写真や動画をたくさん撮らないこと。すべてのものを記録する必要はありません。あなたの経験を大事にして。それは永遠に記憶に残るから。
- 14 たまには家にスマホを置いて、それでも安心できるようになりなさい。スマホは生き物ではなく、あなたの付属品でもありません。スマホのない生き方を学んで「何かを見逃す不安」を超える強さを持ちなさい。
- 15 新しい音楽でも、クラシックでも、何百万人が聞いているのとは違う曲でも、ダウンロードして楽しみなさい。あなたの世代は、これまでの歴史にもないほど、さまざまな音楽にアクセスできるのですから。この恩恵を受け、あなたの世界を広げなさい。
- 16 たまには昔ながらのワードゲーム、パズル、知能ゲームなどで遊びましょう。
- 17 スマホから顔を上げ、あなたの周りの世界で起こっていることを見なさい。窓の外を眺め、鳥の声を聴き、散歩して、初対面の人と話しをして。ネット検索をしなくて自分の頭で考えて！
- 18 ここまでの約束で、あなたは失敗するでしょう。その時はスマホを取り上げます。そして、また話し合しましょう。そこからまた始めればいいのです。あなたと私、私たちは常に学んでいくのです。私はあなたのチームメイト。一緒に歩んでいきましょう！

あなたがこれらの約束に同意してくれることを願っています。ここに挙げたほとんどの教訓は、スマホだけでなく人生にも当てはまります。目まぐるしく変化する世界で成長することは、とても刺激的で魅力的です。だからこそ、どんな機器よりもあなたのパワフルで大きな心を信じてほしい。ママはあなたを愛しています。さあ、新しく素晴らしいスマホを楽しんで！

愛を込めて
ママより